

# 土浦市の家計簿

## 財政事情の公表

平成20年度の決算概要についてお知らせします。なお、平成20年度土浦市歳入歳出決算書を議会の認定を受けるため、9月議会に上程しました。また、平成21年度9月末現在の予算の収支状況を併せてお知らせします。

財政課 ☎ 826・1111 内線2451

## 平成20年度各会計の決算状況

### 一般会計

一般会計の決算額は、歳入477億16万円、歳出465億9309万円です。差し引き11億707万円のうち、1億4668万円は翌年度に繰り越された事業に充てられる財源で、実質収支額9億6039万円となりました。

### 特別会計

特別会計は、市が特定の事業を行うとき、その収入をもって、その経費に充てる独立した会計で、公共用地先行取得、駐車場、国民健康保険、老人保健、介護保険、下水道、公設地方卸売市場、農業集落排水、土浦駅前北地区市街地再開発、平成20年度決算から新たに加わった後期高齢者医療の10事業の特別会計があります。

特別会計全体の決算額は、歳入342億3116万円、歳出340億6720万円です。差し引き1億6396万円のうち、5070万円は翌年度に繰り越さ

れた事業に充てられる財源で、実質1億1326万円の黒字となりました。

### 各種事業概要

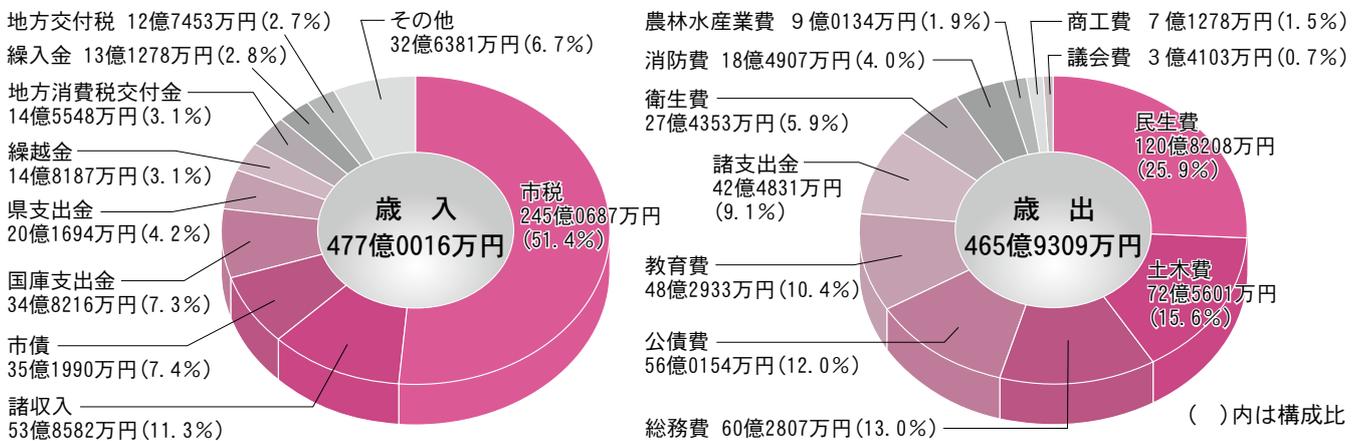
#### 【総務費】

- 土浦駅と荒川沖駅に防犯カメラを設置し、利用者の不安解消と犯罪の抑止効果を図りました。
- 市役所から市内全域に一斉伝達の可能なデジタル通報系防災無線施設を整備するための実施設計を行い、平成21年度から2か年で工事を行います。

#### 【民生費】

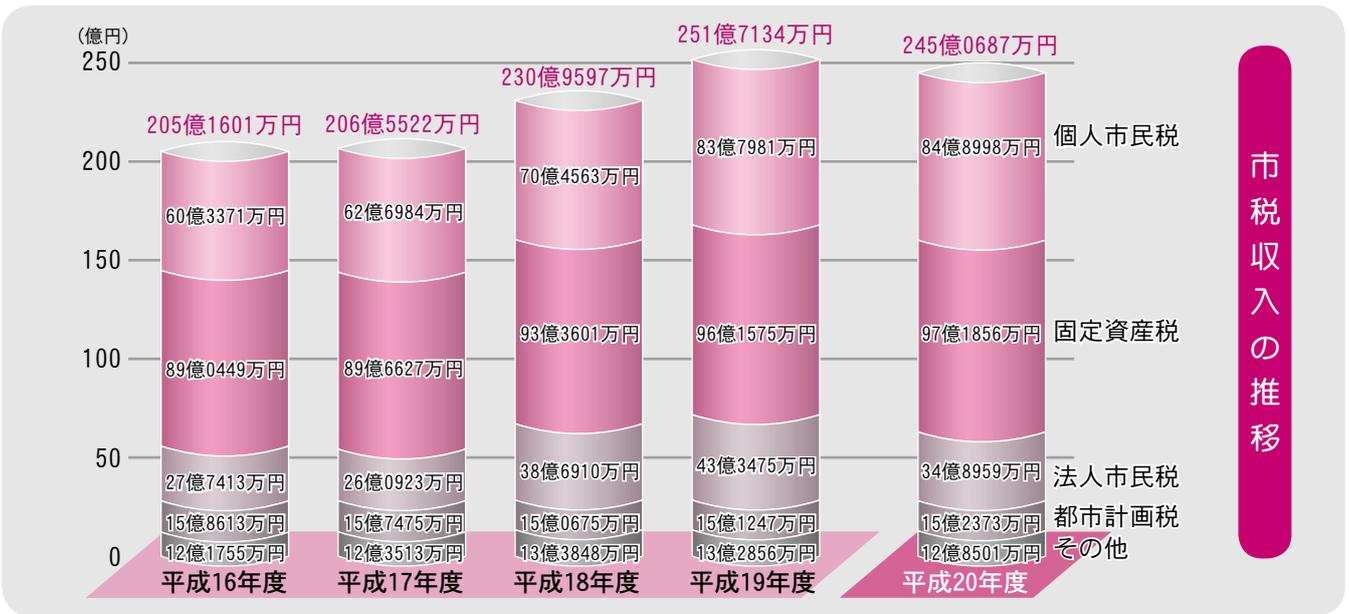
- 障害福祉計画を策定するとともに、障害者団体、つくば国際大学および市の三者が協働して、災害時の対応を記した障害者および支援者のための「防災の手引き」を作成しました。
- 高齢者の通院や買い物などの外出のときの足となる「のりあいタクシー土浦」の利用者に年会費の一部を助成し、健康の維持増進を図りました。
- 乳幼児の医療費助成制度における入院時医療費の支給対象年齢を中学3年生まで大幅に拡大することも

## 一般会計の決算



市民の負担状況	市税負担額	行政経費		
		一般会計	特別会計	合計
市民1人当たり	17万0718円	28万9870円	21万5929円	50万5799円
1世帯当たり	44万4424円	75万4609円	56万2122円	131万6731円

※人口：14万3552人、世帯数：5万5143世帯（平成20年4月1日現在）  
 ※市民負担状況の算定には、市税を充当していない市債借換債、公社貸付を除いています。



市税収入の推移

に、所得制限を撤廃するなど、子育て家庭の経済的負担の軽減を図りました。

【衛生費】

●母子保健事業では、妊婦健康診査の公費負担を5回に拡充するなど、経済的負担の軽減により安心して出産できる体制を整えました。

●全国的に深刻な問題となっている小児医療や休日診療体制について、本市の休日緊急診療所では平日の木曜日と金曜日の夜間も開設するなど、診療体制の充実を図りました。

●斎場では、火葬業務の民間委託により、経費削減を図りました。

●今泉第二霊園の区画造成を行い、一坪タイプに固定化していた墓地区画を3パターンの面積区画割とするなど、市民ニーズの多様化に応じた霊園整備を進めました。

●学校を除く全市域の市施設でのISO14001認証を継続し、率先して環境保全活動を実践しました。

●市役所や地区公民館など市施設にアサガオなどを利用したグリーンカーテンを設置し、市民への省エネ活動の普及啓発を図りました。

【農林水産業費】

●グリーンツーリズムの高まりの中で、「都市と農村の交流事業」による地域活性化への取り組みを進めるため、地域特性を生かした農業体験や交流のあり方の調査、検討を進めました。

●むらづくり交付金事業による新治地区の溜池改修工事や農道整備工事を行いました。また、県営事業の手野地区や坂田地区の圃場整備、新治地区のかんがい排水事業を推進し、農業生産の機械化や生産活動の充実を図りました。

●県森林湖沼環境税の活用による「身近な緑の整備推進事業」により、竜ヶ峰の桜で知られる県立中央青年

の家付近の市有林の除草刈りを行い、里山の保全整備を図りました。

【商工費】

●雇用の創出や地域経済の活性化を図るため、固定資産税相当額の奨励金を交付するなどの工業団地などへの企業誘致事業によって、2社の企業が進出しました。

●商業近代化促進事業では、中心市街地の活性化に向けて、カレーフエスティバルの開催に合わせたカレージミットの実施など食のまちづくり事業を推進するとともに、本格運行となったまちづくり活性化バスの運行支援や、まちなか元気市の開催などを展開しました。

●自然・歴史などの観光資源を生かした今後10年間の戦略プログラムを盛り込んだ観光基本計画を策定しました。

●老朽化した国民宿舎「水郷」の経営改善のための方策と今後の在り方について協議・検討を行いました。

●全国花火競技大会は、観客の安全確保と打上現場での安全対策を充実し、大会運営に万全を期するとともに、内容の充実を図った「土浦花火つくり」による過去最高に並ぶ観客80万人を魅了させるなど、高い評価を得ることができました。

●緊急雇用創出事業では、離職者を市臨時職員として雇用し、就業機会を創出しました。

【土木費】

●排水路整備事業では、平成19年度からの継続事業で進めました菅谷東都市下水路の調整池整備事業が完成し、また神立菅谷都市下水路の上流部と虫掛小規模排水路の整備を推進しました。

●歴史の小径整備に伴う中城通りの電線地中化工事を進めるとともに、平成21年度に策定する地域公共交通総合連携計画の基礎調査や都市計画道路整備方針作成事業により、中短期的に取り組む都市計画道路の優先整備5路線の整備方策を検討しました。

●道路新設改良では、拡幅改良、舗装および交通安全施設工事などを実施することともに、橋梁の整備では、東崎町地内の新川にかける人道橋の平成21年度に着工するための詳細設計や、踏切整備においても摩利山新田地内の用地を確保するなど、市民生活の利便の向上を図りました。

●新治地区との一体的なまちづくりを進めるうえで重要な虫掛・藤沢間の市道整備では、平成21年度の工事着工に向け、道整備交付金を活用した用地取得を実施しました。

●バリアフリー推進事業では、障害者や各事業者などによるワークショップを開催するなど、市民との協働による一体的・総合的なバリアフリー施策を推進するための基本構想を策定しました。

●中心市街地の骨格的な道路整備として、川口田中線街路事業では、一部区間の供用に向けた工事を進め、木田余神立線街路整備では、用地取得などを行いました。

●朝日トンネル整備事業では、広域的なアクセスの向上を図る新たな南北軸の幹線道路の整備を目指し、トンネル工事の本格着工に向け、大部分の用地を確保したほか、取り付け道路の一部工事に着手しました。

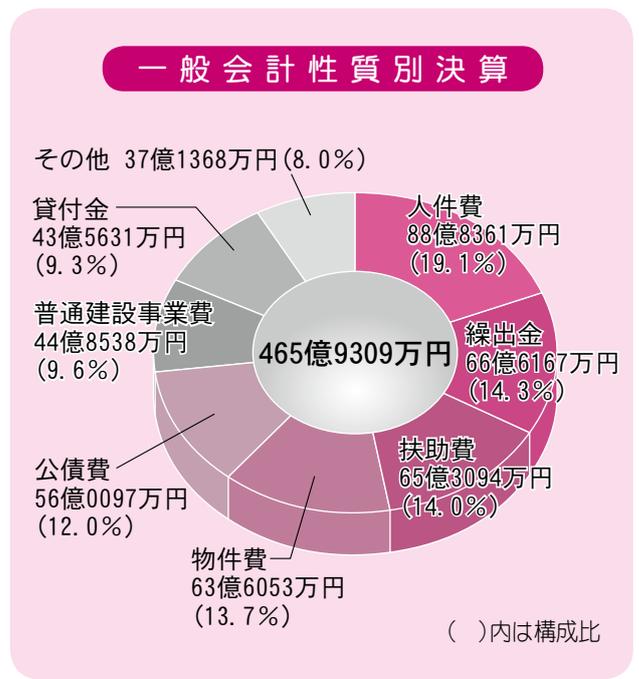
●開発費では、駅前北地区市街地再開発事業を余儀なく休止したところですが、これらの事業整備に支障となる自転車駐車場、第2分団消防車庫を、先行して移転整備しました。

【消防費】

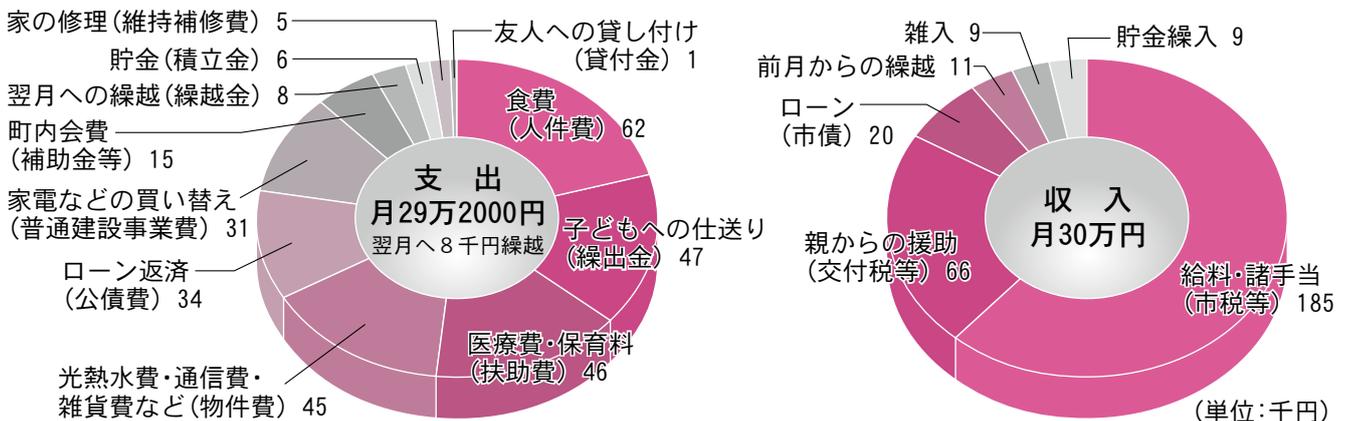
●化学消防ポンプ車や小型消防艇の更新など、消防力の充実強化を図りました。

●すべての保育所と幼稚園、消防署など25か所にAEDを配備することともに、救命講習会の実施により、市民生活の安全確保に努めました。

市有財産の状況		
土	地	366万4142.02㎡
建	物	43万6025.04㎡
山	林	2万5890.00㎡
車	両	340台
有	価	証
券		1146万円
出	資	に
よ	る	権
利		4億2742万円
財	政	調
整	基	金
		49億7048万円
土	地	開
発	基	金
		24億4493万円
用	品	調
達	基	金
		350万円
文	化	振
興	基	金
		2億8829万円
奨	学	基
金		1259万円
高	額	療
養	費	貸
付	基	金
		2000万円
庁	舎	建
設	基	金
		42億1927万円
市	債	管
理	基	金
		12億6995万円
社	会	福
祉	事	業
基	金	
		6億6813万円
国	民	健
康	保	険
出	産	費
資	金	貸
付	基	金
		351万円
介	護	給
付	費	準
備	基	金
		8億2510万円
公	社	対
策	基	金
		11億4684万円
介	護	従
事	者	処
遇	改	善
臨	時	特
例	基	金
		6604万円
債		権
		2638万円



土浦市の一年間の歳入を月30万円の収入がある家計に例えると



※市の年間決算額を一月の家計におきかえてみましたが、単純比較は困難ですので、あくまで目安としてください。  
※借換債、公社貸付については、歳入・歳出から除いています。

【教育費】

●藤沢・斗利出・山ノ荘小学校および土浦第三・第五中学校の耐震診断調査を行い、今後計画的に補強・改築を進めます。また、土浦小学校の改築事業のための埋蔵文化財発掘調査の実施など、良好な学習環境の整備に向けた取り組みを推進しました。

●国有地を賃借していた土浦第三中学校用地を、取得しました。

●芸術文化振興では、「第23回国民文化祭・いはらき2008」において、本市で洋舞・映像文化フェスティバル、霞ヶ浦・水の文化フェスティバルが開催され、多くの来場者が身近に文化、芸術にふれあい、親しんでいただくことが出来ました。



●国際交流では、中学生交換交流事業として、アメリカ合衆国バロアルト市の中学生と市内8中学校16人による相互交換ホームステイを実施し、国際的な見識が高められるとともに、派遣中学生以外の生徒も学校交流会によって、国際感覚の醸成が図られました。

なお、これらの事業を通じて、平成21年4月には姉妹都市締結の合意に至りました。

●第18回かすみがうらマラソン兼国際盲人マラソンかすみがうら大会を、国内3番目の規模となる2万118人のエントリーを得て開催しました。なお、今大会は世界有数のマラソン大会であるオーストラリア・シドニーマラソンとの姉妹提携をし、東京マラソン、那覇マラソンに次ぐ国内屈指の大会へと成長しました。

●給食センター調理業務等委託事業では、第一学校給食センターにおいて、小学校9校、中学校4校、幼稚園3園の1日当たり約7000食の調理、洗浄業務を民間業者に委託し、業務の効率化を図りました。

特別会計の決算			
会計名	歳入	うち一般会計繰入金	歳出
公共用地先行取得事業	9億4951万円	4億9871万円	9億4951万円
駐車場事業	9億9789万円	8億3320万円	9億9785万円
国民健康保険	141億3881万円	10億6792万円	141億2749万円
老人保健	9億7295万円	5900万円	9億5580万円
後期高齢者医療	10億7621万円	1億8682万円	10億7394万円
介護保険	65億9134万円	10億0060万円	65億3530万円
下水道事業	88億9034万円	20億5600万円	88億7803万円
公設地方卸売市場事業	3億3261万円	1億4400万円	2億8877万円
農業集落排水事業	1億5378万円	4200万円	1億5311万円
土浦駅前北地区市街地再開発事業	1億2772万円	4940万円	1億0740万円
計	342億3116万円	59億3765万円	340億6720万円

地方債の状況		現在高
区分		
一般会計		400億3469万円
特別会計		337億3075万円
下水道事業		292億1606万円
公共用地先行取得事業		22億1696万円
駐車場事業		15億7154万円
農業集落排水事業		4億3659万円
公設地方卸売市場事業		2億4640万円
土浦駅前北地区市街地再開発事業		4320万円
企業会計(水道事業)		77億6111万円
計		815億2655万円 (対前年度△3.9%)
平成19年度末現在高		848億2382万円

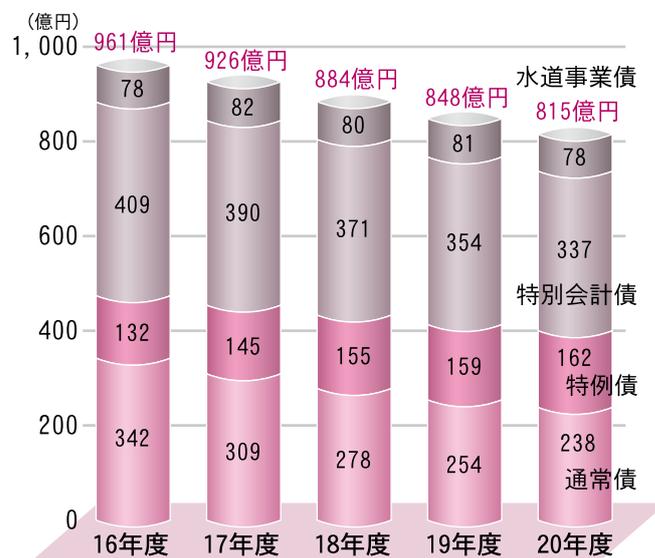
企業会計(水道事業)の決算			
損益計算書(事業の管理・運営に関する収支(消費税抜き))			
収		入	
水道料金収入	33億9950万円	県への支払い水道料金	16億0818万円
その他の収入	4220万円	施設の維持管理・給水・料金徴収等費用	6億1035万円
計	34億4170万円	企業債利息	2億0510万円
		減価償却費等	6億4529万円
		計	30億6892万円
		純利益	3億7278万円

貸借対照表			
資産		負債	
固定資産(土地・建物・構築物等)	192億2068万円	固定負債(修繕引当金)	1億9733万円
流動資産(現金・未収金等)	32億8039万円	流動負債(未払金等)	3億1594万円
繰延勘定(開発費)	4399万円	負債計	5億1327万円
資産計	225億4506万円	資本	
		資本金(自己資本・借入資本)	174億0743万円
		剰余金(加入金・受贈財産・財調積立金・未処分利益剰余金等)	46億2436万円
		資本計	220億3179万円
		負債・資本計	225億4506万円

資本的収支(施設の建設・改良などに関する収支(消費税抜き))			
収		入	
企業債加入金	7億8610万円	配水管などの建設・改良費用等	5億4865万円
その他の収入	7979万円	企業債元金償還金	11億2579万円
計	8億6589万円	計	16億7444万円
収支不足額	7億8304万円		

\*収支不足額は、損益勘定留保資金、減価積立金で補てんしました。

市債現在高の推移



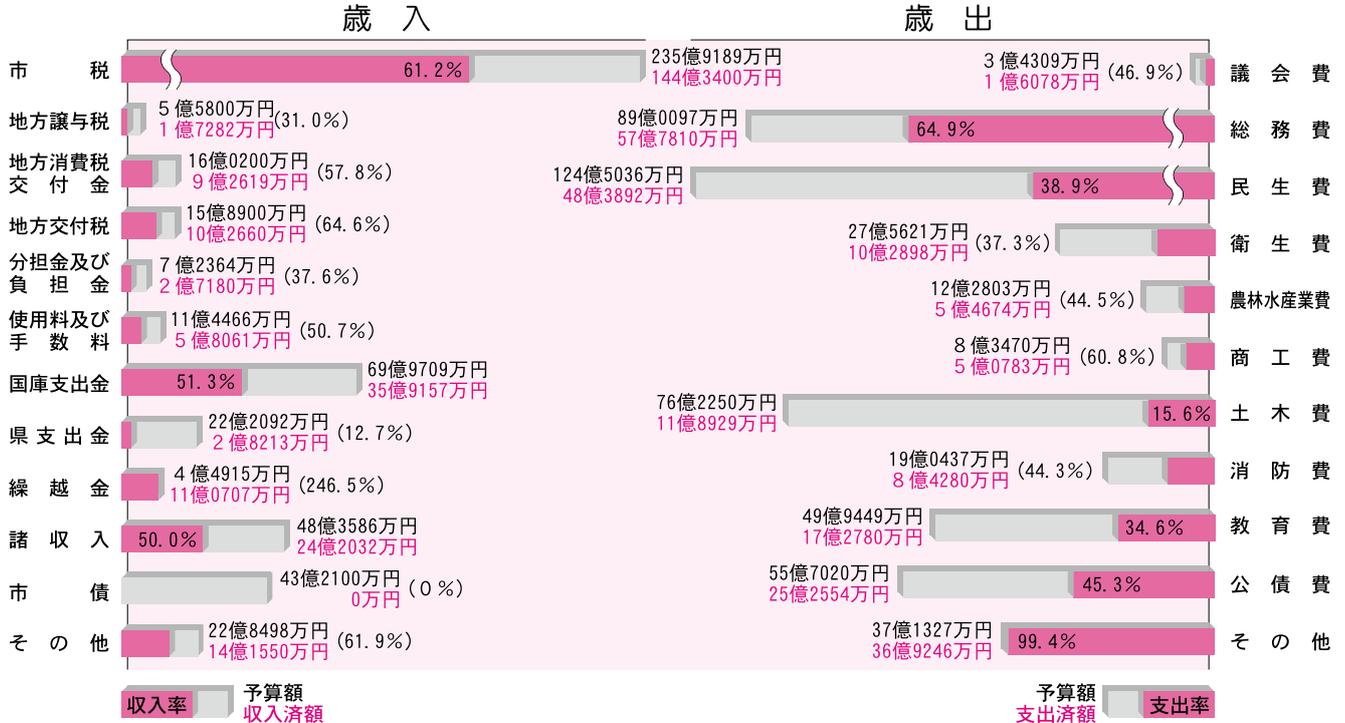
# 平成21年度上半期 財政状況を公表します

市では、市民の皆さんに市政について理解を深めていただくために、財政状況を年2回公表しています。  
今回は、平成21年9月30日現在の各会計予算の収支状況をお知らせします。

☎ 財政課(☎826-1111 内線2217)

一般会計予算現額 503億1819万円

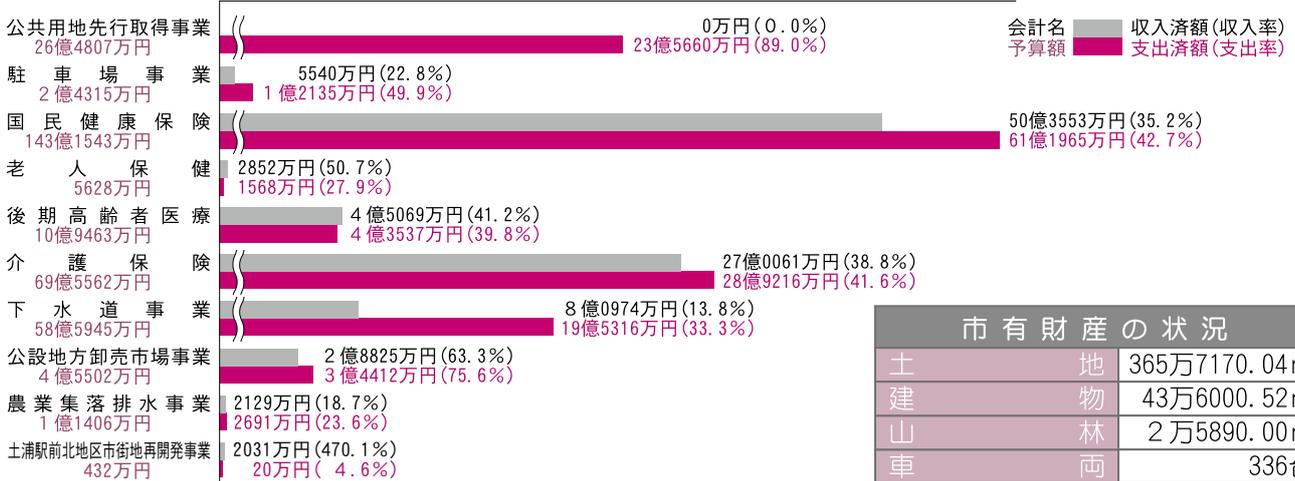
収入済額 262億2861万円(収入率52.1%)、支出済額 228億3924万円(支出率45.4%)



※市債の借入れ時期は通常3月以降となります。

特別会計予算現額 317億4603万円

収入済額 94億1034万円(収入率29.6%)、支出済額 142億6520万円(支出率44.9%)



市有財産の状況		
土地	365万7170.04㎡	
建物	43万6000.52㎡	
山林	2万5890.00㎡	
車両	336台	
有価証券	1146万円	
出資による権利	4億2742万円	
基金	156億5505万円	
債権	2570万円	
市債の現在高		
一般会計	378億6954万円	
特別会計	322億2704万円	
企業会計	75億4985万円	
計	776億4643万円	

## ●水道事業会計予算の執行状況

区分	予算現額	執行済額	執行率	
収益的収支	収益的収入	36億4120万円	15億1469万円	41.6%
	収益的支出	33億4152万円	10億0207万円	30.0%
資本的収支	資本的収入	12億7732万円	8303万円	6.5%
	資本的支出	26億6963万円	6億1733万円	23.1%

※収益的収支…事業の管理・運営に関する収入および支出(消費税込み)

※収益的収支…事業の管理・運営に関する収入および支出(消費税込み)

資本的収支の支出に対する収入の不足額は、損益勘定留保資金などで補てんします。